

月刊 サンエスウォッチング

Vol.72-2

色と時代



▲▼ステムやシートポストのクランプ部分のみ
アノダイズドを使用し遊び心を残していた



◀リッチーは2001年辺りからまるで
モノトーンようになっていく



▲リッチー傘下時代のMTB系
ブランドであるシンクロスから
白いステムが登場する



▲ブレーキ本体にアノダイズドを多用したユニークな
ディズナの製品



▲2008年、遂にリッチーからも
ホワイトステムが発表される



▲2009年にオリジナルでスケルトンカラーの
ペダルを発表



▲そしてリッチーから赤に塗装されたステムやハンドルも登場



タイヤサイドや
チェーンなどもあ
の手この手で色目
での個性を演出

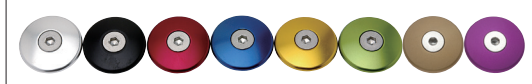


▶一般的に流行色は2年前に決まるそうですが、世間で1970年代に流行したブラウンやベージュやカーキやグリーンと言ったアースカラーが近年のサブムーブメントを起こしていると言えるでしょう。

そして、流行は変わるが廻る、というように、今度はまたカラフルなアノダイズドカラーが求められているようです。またシルバーも然りです。



ワンポイントでのアルミアノ
ダイズドカラーは自転車の楽し
さを陰で支える要素
(写真は最新総合カタログより
引用)



▶さてこれからどんな色が流行っていくのでしょうか。USA アルミアノダイズド大好き商品も実力ブランドはカリスマとして息を吹き返す中。色に飽きてモノトーン、素材色としてチタン、自分でペイント、無骨に無塗装のフレーム、カーボン繊維を見せる見せないや、マジョーラ的なものや・・・。

レースフレームの主流であるカーボンは金属的に遊べないので色目の範囲が限られますが、現在の技術ではアルミアノダイズドのように見せかけるなど、もはや色彩の表現は何でも可能で、ますます流行に左右されて行くのかもしれない。

▶ワンバイエスでもカーボンのハンドルやシートポストにもホワイトを施していた時期がありました。特に選手がよく使っていた印象があります。(白いジェイカーボンハンドルは北京オリンピックに使用され、ブレンドステムはパナソニックレディースチーム専用カラーでした) マガタマにもホワイトが・・・ありました。



OnebyESU のフレームカラーでは新モデル発表時に新しい色を追加するようにしています。

JFF#701D 発表時のメタリック調の「M-010 メタリック C ブルー」は、日本の人気スポーツカー逆輸入バージョンのカリフォルニアブルー。JFF#703D 発表時のソリッドな「S-021 サファリ G イエロー」は、人気不衰の名車のサファリゴールドからです。メタリックとソリッドも時代によって廻っている典型といえますね。